

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃より市政運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけ変更に伴い、行動制限が緩和されたことで長期化していた「自粛」から「活動」へと日常が動き出しました。

本市では、昨年の十月に「第四十五回水郷潮来花火大会」を四年ぶりに開催することができ、潮来市のシンボルといべき水辺を活用した花火を打ち上げたことは、地域産業の振興と活性化に寄与するとともに、コロナ禍からの復興に向けた元気と活力をもたらすことができたと感じております。

さらに、会場地となった旧牛堀町地区については、令和4年4月1日付けで過疎地域に指定されたことにより、策定された「潮来市過疎地域持続的発展計画」を基に、これからも持続可能な地域社会形成及び地域資源を活用し、未来に向けた地域活力の更なる向上を目指しているところとす。

また、近年は、新たなテクノロジーを用いた業務効率化と市民サービスの向上が高まる中、本市としては企画部門に「DX戦略室」を設置し、地域活性化企業人派遣事業を取り入れ、積極的なデジタル技術を活用することで庁内の業務効率化を図ると同時に市民サービスの向上を

「住みたいまち潮来」の 実現にむけて

2024年が幕を開けました。
年頭にあたり、原市長より新年の
ご挨拶と抱負を申し上げます。

目指してまいりました。今後も市民の利便性を図るため、地域の特性に合わせたデジタル実装を丁寧に進めていくことが必要であると考えております。

子育て応援事業につきましては、子育て世帯等に対し経済的支援をより一層図るため、県内で最も早く給食費無償化を実施してまいりました。また、道路交通法の改正により、自転車用ヘルメット着用努力義務化を受け、本市では、令和6年度からの新中学一年生に自転車用ヘルメットの無償支給を行い、18歳以下の方には、本年1月1日以降に購入した自転車用ヘルメット購入費用の一部助成を開始いたしました。引き続き、将来を担う子どもたちの健やかな成長のため、切れ目のないきめ細やかな子育て支援の充実を図ってまいります。

本年も新たな時代にふさわしい魅力あるまちづくり、そして誰もが健康で安心して暮らすことができる「住みたいまち潮来」の実現に向けて、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズ等に的確に対応しながら、持続可能な市政運営に取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆さま方にとりまして、幸多き素晴らしい年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

朝来市長 原浩道

